

都筑区都田・池辺地区における 市営600系統実証実験の利用状況と 10月からのダイヤ変更について

令和5年9月15日

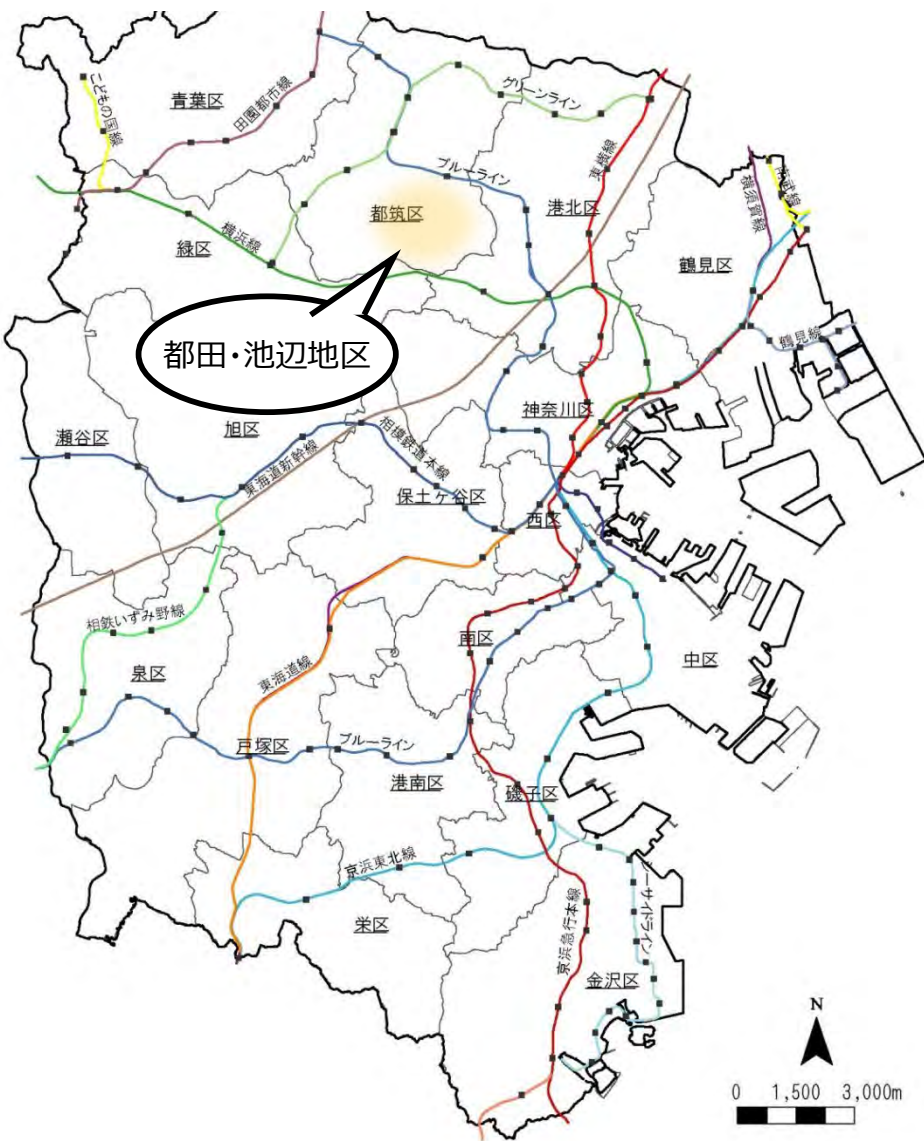
令和5年度第2回 地域公共交通会議 資料

横浜市 都市整備局 都市交通部 都市交通課

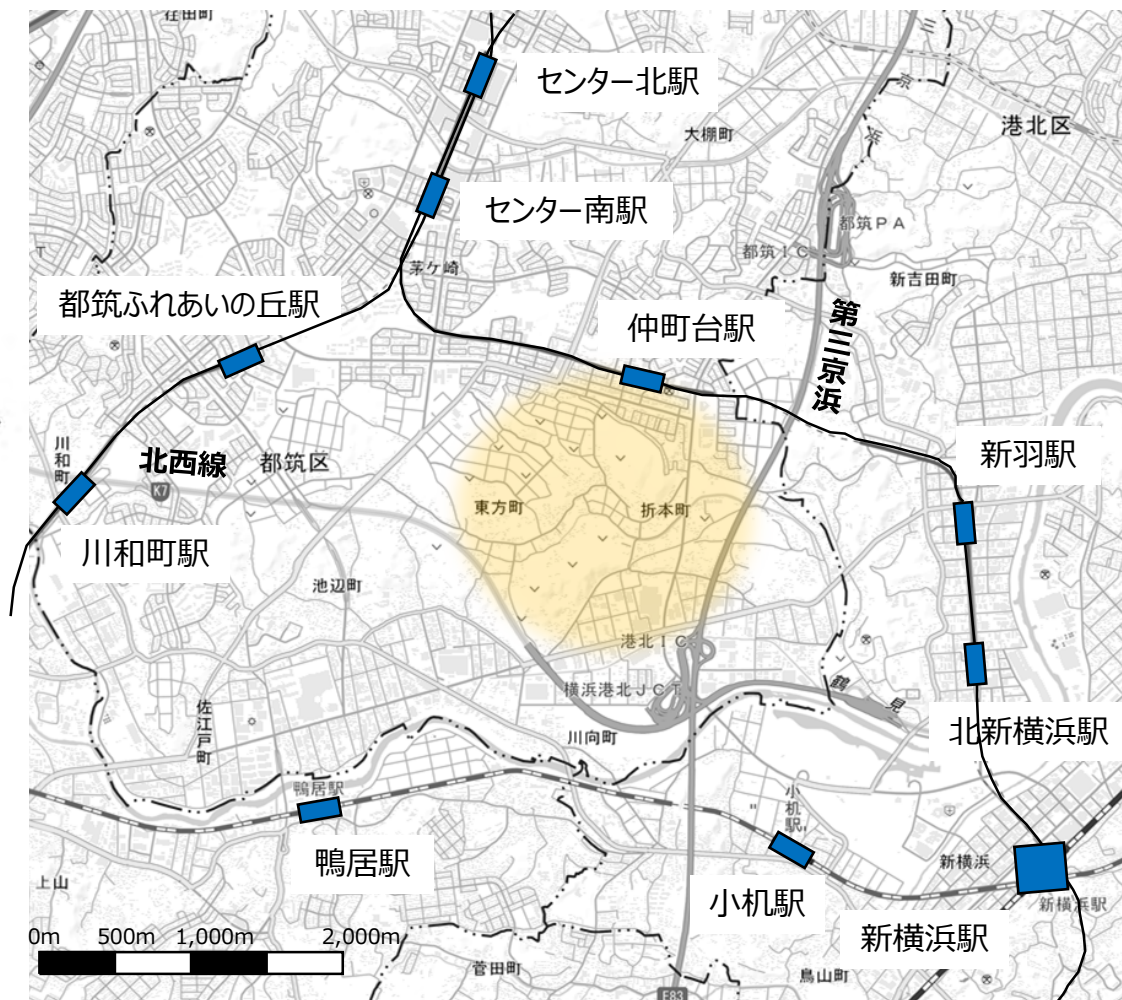
報告（5）都筑区都田・池辺地区における 市営600系統実証実験の利用状況と10月からのダイヤ変更について

2

■位置図（広域）



■位置図（拡大）



報告（5）都筑区都田・池辺地区における 市営600系統実証実験の利用状況と10月からのダイヤ変更について

3

■対象地区の地域交通の特徴

各路線の特徴（利用実態）

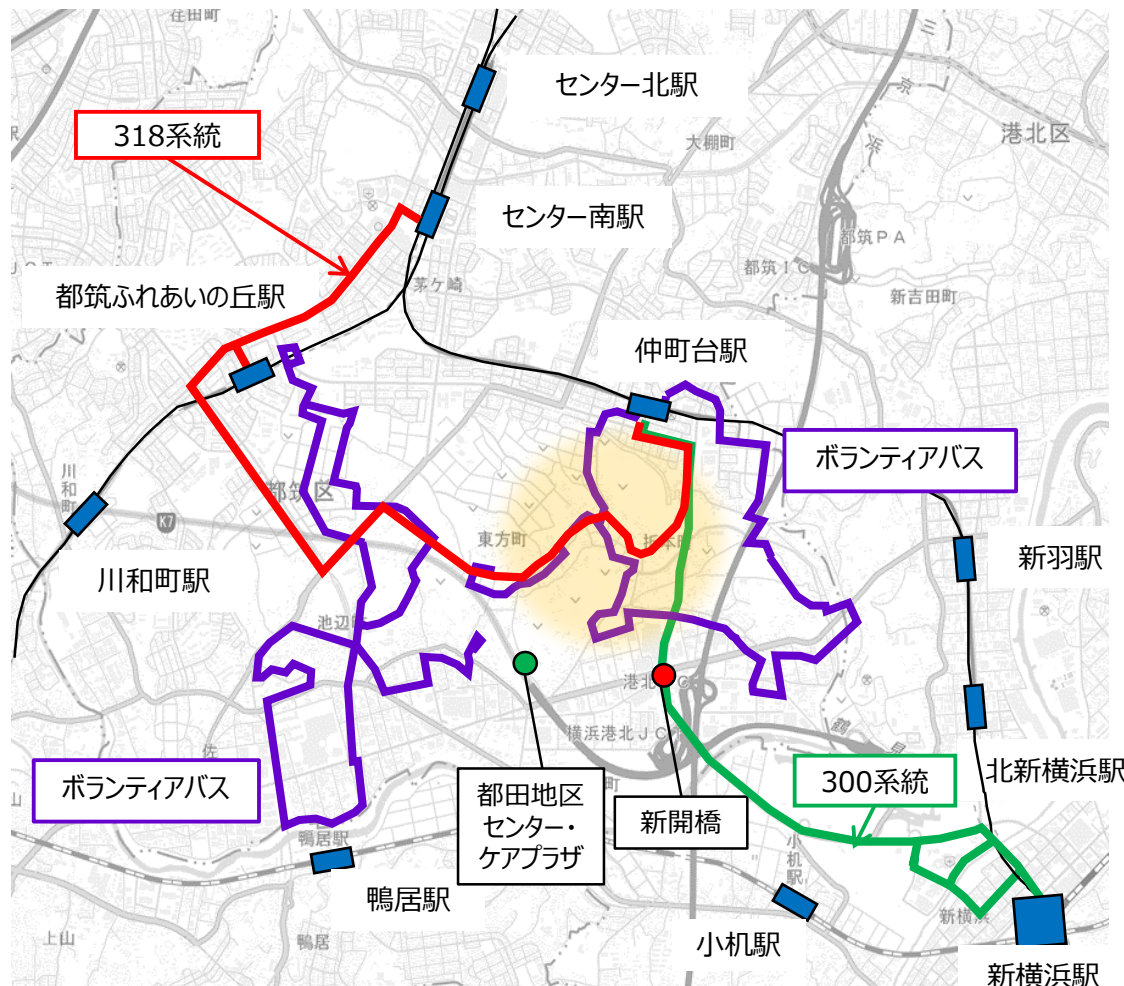
- ・300系統：新開橋周辺への通勤
- ・318系統：通勤通学、日中の買い物、スポーツセンター
- ・ボランティアバス※：既存バス路線でカバーできない部分の運行や利用者の見守り機能

地区センター・地域ケアプラザの開所

- ・既存のバス路線がない（大型車の侵入不可）
- ・最寄りのバス停からの山坂



- ◆これまでの利用実態に応じた路線再編
- ◆地区センター・ケアプラザへのアクセスを確保



収支改善と利便性の確保を両立させるため、
周辺路線の再編と併せて、**小型車両（ワゴン型）を導入した実証実験**を実施

報告（5）都筑区都田・池辺地区における 市営600系統実証実験の利用状況と10月からのダイヤ変更について

■ ボランティアバスとは

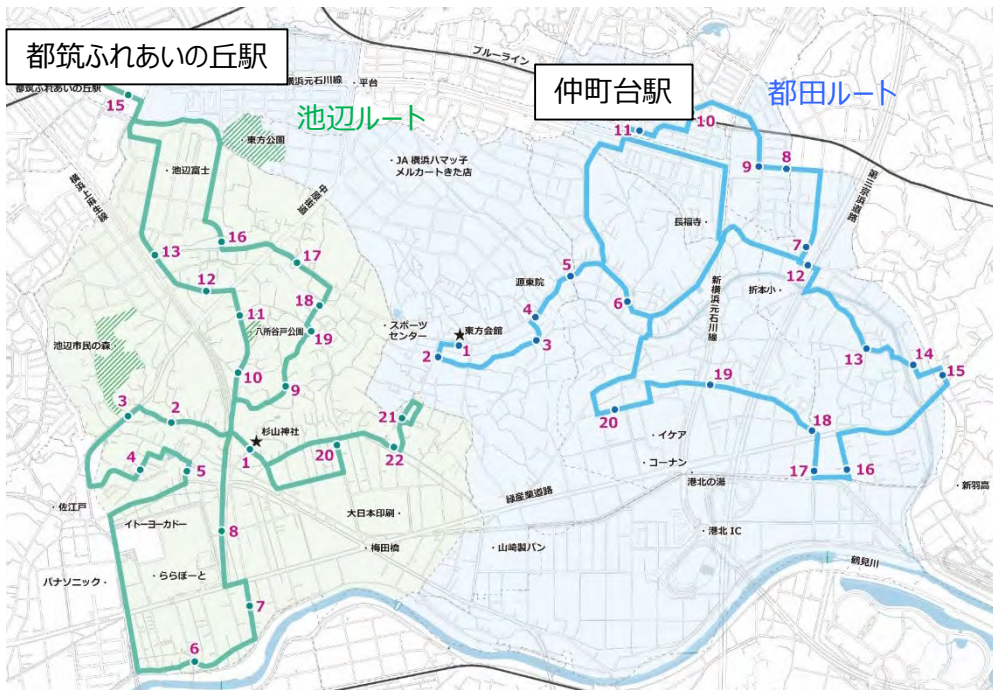
- 地域の移動手段確保のため、道路運送法の許可又は登録を要しない助け合いにより、運行するバス

■ ボランティアバス運行取組の経緯

- 平成28年1月 都田連合町内会及び池辺連合自治会のメンバーによる「準備会」の発足、実証運行に向け、検討を開始
- 平成29年5月 実証運行開始
- 令和元年12月 本格運行開始

運行主体	一般社団法人ボラバスと地域福祉の会※
運行ルート	都田地区、池辺地区内周回ルート（右図）
運行本数	都田地区 月、木（週2日）約2便／日（全便予約制） 池辺地区 火、金（週2日）3便／日（定時定路線）
利用者負担	10回乗車毎に徴収（1,400円、1回あたり140円相当）
使用車両	ワゴン型車両（8人乗り）1両

※ 横浜市地域まちづくり推進条例に基づく、地域まちづくりグループ。構成員は主に地域の自治会町内会長。



運行ルート

報告（5）都筑区都田・池辺地区における 市営600系統実証実験の利用状況と10月からのダイヤ変更について

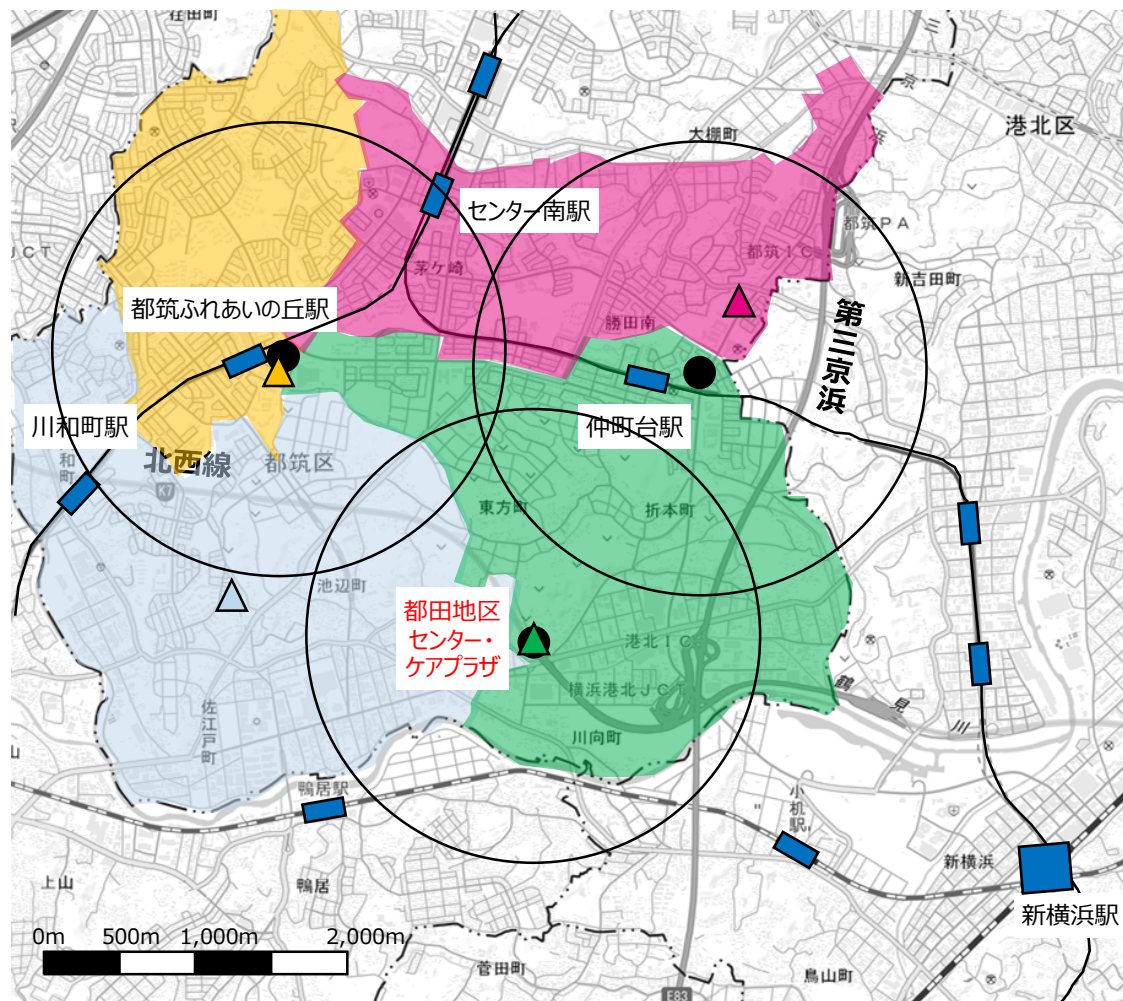
5

■地域ケアプラザとは

- ・ 高齢者、子ども、障害者など誰もが地域において健康で安心して暮らせるよう、地域住民とともにより良い地域を作っていくための横浜市独自の施設
- ・ 概ね中学校区圏域ごとに設置

■地区センターとは

- ・ 地域の住民が自らの生活環境向上のために自主的に活動し、スポーツ、クラブ活動等を通じて相互交流を深めることを目的とした施設
- ・ 日常利用圏域（半径1.5km）ごとに設置



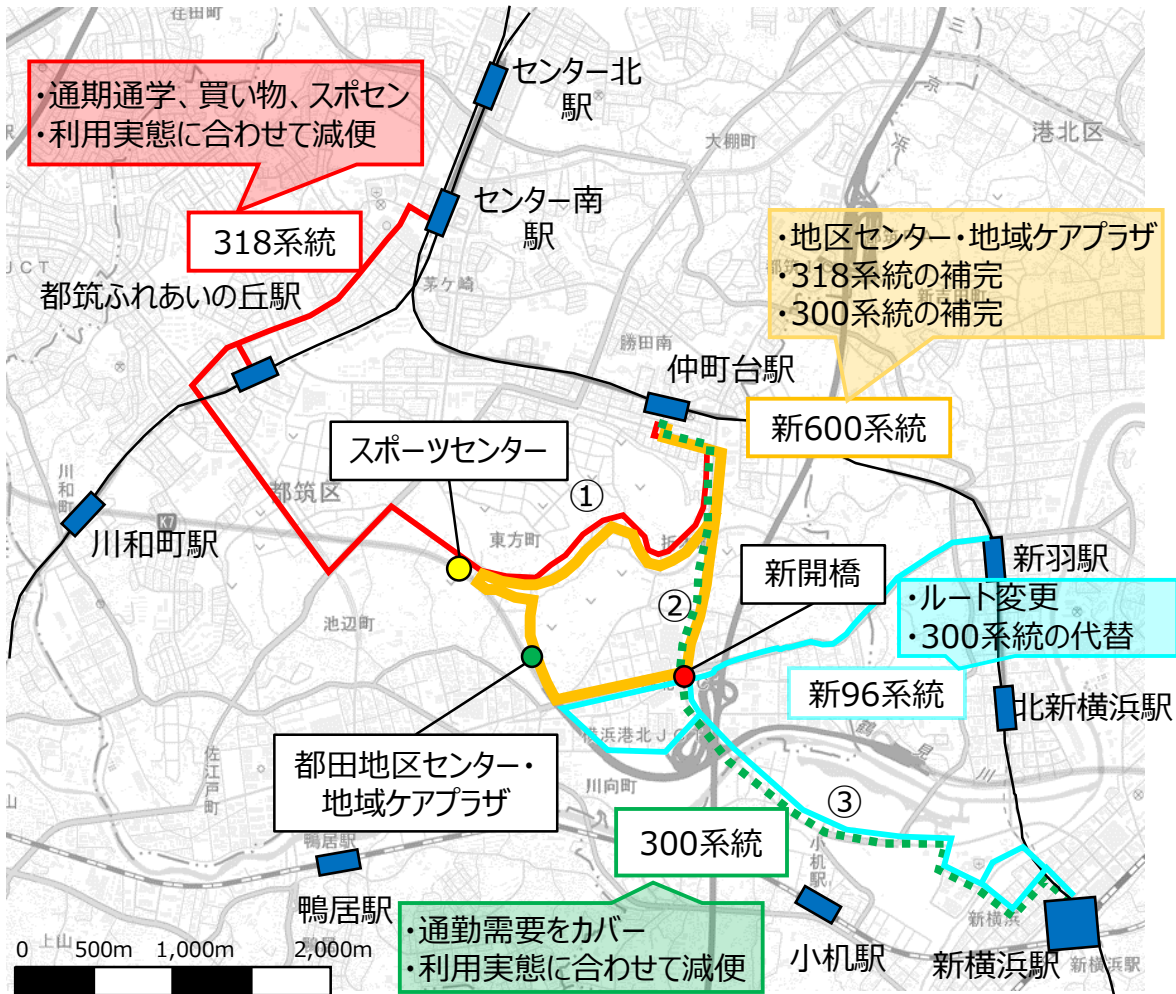
△ 地域ケアプラザ（着色部が担当エリア）

● 地区センター（円が日常利用圏内 半径1.5km）

報告（5）都筑区都田・池辺地区における 市営600系統実証実験の利用状況と10月からのダイヤ変更について

■ 周辺バス路線の再編の全体像

系統	時間帯	便数（平日）	
		再編前	再編後
新600	7～20時台	0便	14便
318	6～8時台	10便	6便
	9～20時台	27便	10便
300	6～8時台	11便	2便
	9～23時台	47便	0便
新96	6～21時台	0便	31便



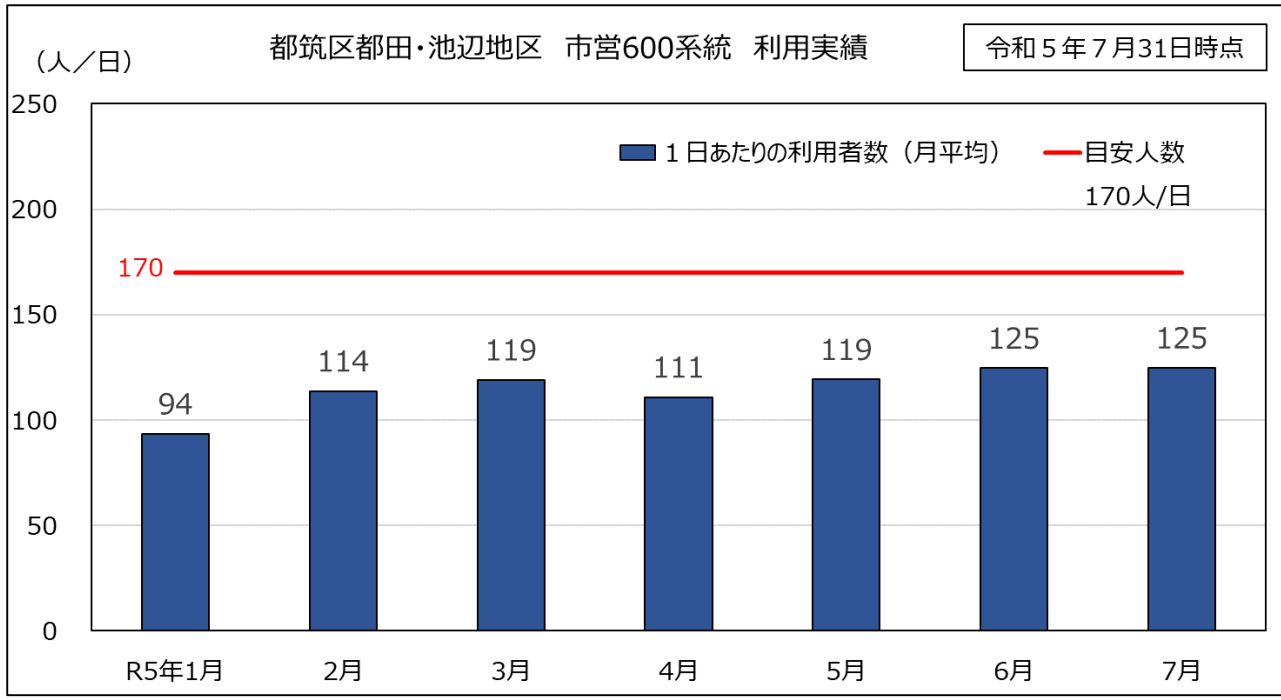
報告（5）都筑区都田・池辺地区における 市営600系統実証実験の利用状況と10月からのダイヤ変更について

■新600系統（ワゴン型）

■利用実績（1日あたりの利用者数）

- ・7月の1日あたりの平均利用者数は、125人（1便あたりの平均利用者数9.4人）
- ・土休日の利用が落ち込んでいる

※目安人数：170人



	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月
平日平均（人/日）	106	134	139	132	143	143	150
土曜平均（人/日）	79	94	77	84	92	100	97
休日平均（人/日）	59	60	65	60	68	48	65

※6月休日は一部集計できていない時間帯があるため、数値が低くなっています

報告（5）都筑区都田・池辺地区における 市営600系統実証実験の利用状況と10月からのダイヤ変更について

9

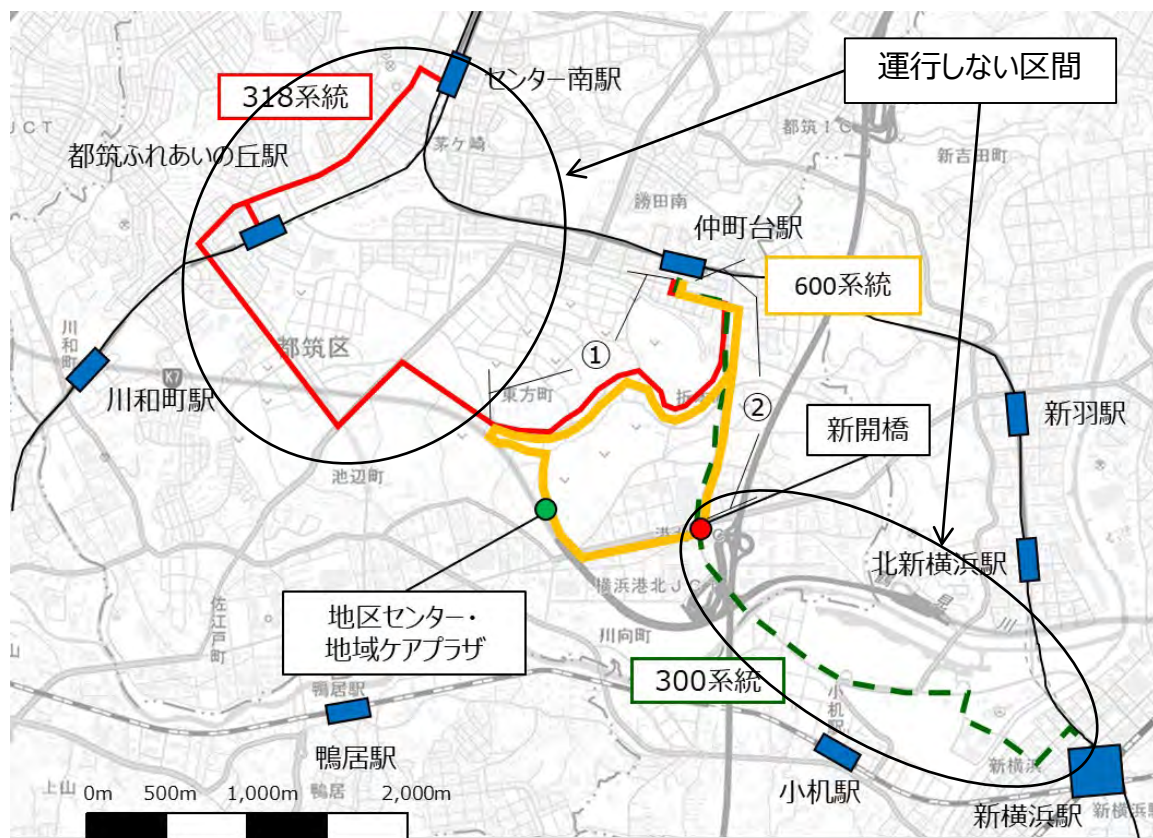
■新600系統（ワゴン型）

■ 1日の利用者数の目安とした170人の根拠

- ・300系統と318系統の利用者が600系統に乗り替わること、運行計画やダイヤ変更の影響を考慮し、設定

300系統と600系統の重複部分（②部）と
318系統と600系統の重複部分（①部）の
利用者：227人/日（実証実験前実績）

⇒ 運行本数が約3/4に減ったこと、
および運行しない区間が生じることを考慮し、
 $227人/日 \times 3/4 \div 170人/日$
と設定

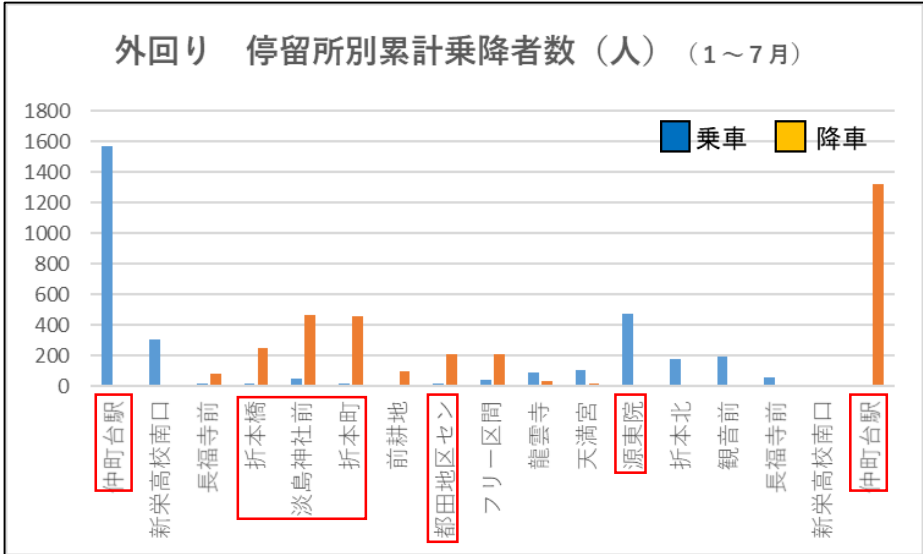


報告（5）都筑区都田・池辺地区における 市営600系統実証実験の利用状況と10月からのダイヤ変更について

10

■新600系統（ワゴン型）

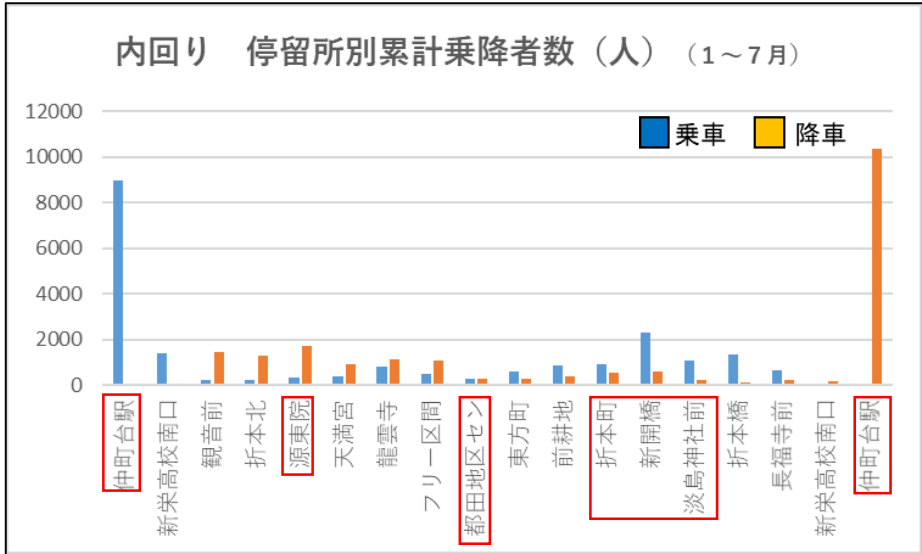
■利用実績（停留所別累計乗降者数）



乗車 < 降車

乗車 > 降車

- ・「仲町台駅」の乗降者数が最も多い
- ・住宅の多い「源東院」や、事業所・商業施設の集まる「新開橋」周辺の乗降者数が多い
- ・「都田地区センター・ケアプラザ」の利用が他のバス停の利用と比較して少ない
- ・乗車数と降車数に乖離のある地区がある
⇒行きか帰りしか利用されない場合がある



乗車 < 降車

乗車 > 降車

「都田地区センター・ケアプラザ」の利用状況（1～7月）

	乗車数 上段：累計 下段：日・便平均	降車数 上段：累計 下段：日・便平均
外回り	18人 0.09人/日 0.04人/便	207人 0.99人/日 0.50人/便
内回り	304人 1.45人/日 0.13人/便	295人 1.41人/日 0.13人/便

報告（5）都筑区都田・池辺地区における

市営600系統実証実験の利用状況と10月からのダイヤ変更について

11

■新600系統（ワゴン型）

■新ダイヤでの運行（令和5年10月～）

内回りのみ運行だと駅まで（駅から）のアクセスが遠回りになるといった声や、土曜日の朝・夜時間帯の利用が特に少ないこと等から、よりご利用しやすく効率的な新ダイヤでの運行を令和5年10月から開始

（平日）・9時台から16時台を交互運行に変更

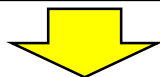
（土曜）・7、8、19、20時台の運行は廃止し土休日共通ダイヤに変更（9～18時台の運行）

・9時台から16時台を交互運行に変更

（休日）・9時台から16時台を交互運行に変更

運行時間帯ごとの循環方向

	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時
平日・土曜	外	外	内	内	内	内	内	内	内	内	内	内	内	内
休日	—	—	外	外	内	内	内	内	内	内	内	内	—	—



※赤字：変更箇所

	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時
平日	外	外	内	外	内	外	内	外	内	外	内	内	内	内
土休日	—	—	内	外	内	外	内	外	内	外	内	内	—	—

報告（5）都筑区都田・池辺地区における

市営600系統実証実験の利用状況と10月からのダイヤ変更について

■今後の予定

	令和4年度	令和5年度		令和6年度
	1月～3月	4月～9月	10月～3月	4月～
各種調整				
実証実験				
本格運行				

※ 関係機関と調整中の内容を含むため、今後、内容が変更となる場合があります